【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年5月 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年5月19日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	サザンイリノイ大学カーボンデール校(日本語名) Southern Illinois University Carbondale(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月~2024年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬~7月下旬 2学期: 9月中旬~2月上旬	1学期: 8月中旬~12月中旬 2学期: 1月上旬~5月上旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	約10000人
創立年	1869年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	5190ドル	78万円	授業料は0ドルで施設利用料などを支払いました。
宿舍費	4320ドル	65万円	
食費	1000ドル	15万円	
図書費	200ドル	3万円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		約5000円	ソフトバンクのアメリカ放題を使用していました。
現地交通費	0ドル	0円	学生はバスが無料で利用できました。 (☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		80万円	旅行など
被服費		円	
医療費	30ドル	4500円	大学の病院に一度行きました。
保険費		22万円	形態：明治大学と留学先の大学の両方の保険に入っていました。
渡航旅費		40万円	
ビザ申請費	400ドル	6万円	
雑費		円	
その他	1440ドル	21万6千円	General student fee
その他		円	
合計		335万円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: セントルイス空港 経由地: シアトル 復路 出発地: ロサンゼルス 目的地: 成田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 約 40 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:
航空券購入方法
☒ 旅行代理店(店名:) ☐ インターネット(サイト名:) ☐ その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎等)
☐ 学生寮(寮の名前:) ☒ アパート ☐ ホームステイ
2) 部屋の形態
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学のアドバイザーから勧められました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
住んでいたアパートメントは留学生が多く、みんなとても仲良くなりやすかったです。管理人を含めみんなあたたかく、一緒にゲームをしたりごはんを食べたり、楽しく安心して過ごすことができました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 大学の病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

何かあると学校からメールが来るので、メールを見逃さないようにしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

家や学校ではWifiがあるので不自由なく携帯電話やインターネットを使用できました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

自分が安心して使用できる薬を持って行くとよいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位		☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Mass communication in a diverse society		多様な社会におけるマスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	JRNL	
履修期間	Fall 2023	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	James Wall	
授業内容	多様な社会におけるマスメディアのあり方を学ぶ。	
試験・課題等	小テスト数回・中間テスト・期末テスト	
感想を自由記入	担当教授がとても優しく親身になってくださったので、最初の授業としてはとても安心して受けることができました。アメリカのマスメディアを中心に学ぶことができ、よい機会になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Oral Communication		口頭コミュニケーション
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	Fall 2023	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Zoe Freedkin	
授業内容	スピーチをするときの有効な話し方を学ぶ。	
試験・課題等	Unitごとの小テスト・スピーチ・プレゼンテーション	
感想を自由記入	初めはクラスのみみんなの前でスピーチをするのは緊張しましたが、だんだんと慣れてきて、この授業のおかげで英語を人前で話すことが怖くなくなりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Gender and Society	ジェンダーと社会入門
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が3回
担当教授	Anthony Cusumano
授業内容	社会におけるジェンダーの定義などを学ぶ。
試験・課題等	小テスト・リアクションペーパー・レポート
感想を自由記入	アメリカ社会を中心にジェンダーについて学んだので、日本いた頃とは違う視点でジェンダーについて考えることができ興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Structure of Japanese	日本語の構造
科目設置学部・研究科	LING
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Satoshi Toyosaki
授業内容	日本語の構造を英語の構造と比較しながら学ぶ。
試験・課題等	実践授業
感想を自由記入	今まで考えたことがなかった日本語の構造について英語で学び、知らない単語もたくさん出てきたので難しかったです、先生やクラスメイトがあたたかくて過ごしやすい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International media systems	国際的なメディアのシステム
科目設置学部・研究科	JRNL
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Dong Han
授業内容	世界中の国のメディアを学ぶ。
試験・課題等	プレゼンテーション・レポート
感想を自由記入	先進国ではなく、マイナーな国のメディアについて学ぶことができ面白かったです。日本やアメリカと比較しながら、国による違いを発見できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Working Internationally	国際的な働き方
科目設置学部・研究科	INTL
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75分が 2回
担当教授	John Kwabena Fiagbedu
授業内容	出身国や文化の違う人と働く方法を学ぶ。
試験・課題等	unitごとのテスト・レポート
感想を自由記入	先生もクラスメイトもとても優しくて1番好きな授業でした。毎回のグループディスカッションが楽しみでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to international studies	国際学入門
科目設置学部・研究科	INTL
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Sasha Allgayer
授業内容	様々な文化を持つ人たちとどのように関わっていくのか、世界で起きている問題やその解決策を学ぶ。
試験・課題等	2週に一度の小テスト・レポート・プレゼンテーション
感想を自由記入	前授業の中で1番興味深く、1番学習に時間を費やした授業です。留学生というt千葉を活かしてこの授業を通して考えられることも多く、非常にためになった授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	Sprong 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Darren Sherkat
授業内容	アメリカの社会に関することを広く学ぶ。
試験・課題等	レポート・小テスト
感想を自由記入	先生の知識量が膨大で、どんなことでもわかりやすく教えてくれるので今まであまり学んだことのないアメリカ社会学でも非常にわかりやすかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験・応募・留学先大学の決定
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	留学先大学のアドバイザーとの zoom・ビザの手続き
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	留学終了
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私がこの大学を選んだ理由はアメリカの中でも治安が比較的よさそうだったことと、アメリカの田舎生活を経験してみたかったからです。私が住んでいた地域は東京とは比べものにならないくらい田舎でしたが、その分アメリカならではの遊びや経験をたくさんすることができたり、旅行に思い切りお金をかけられたりしたので、この大学を選んでよかったと思っています。また、大学を中心とした地域なので周りの人たちが非常に優しくあたたかかったので安心して生活することができました。住んでいた寮は、7割が留学生だったので、いろんな国の人と出会えることが魅力的でした。お互いの言語や文化を学び合って仲良くなり、共用スペースで一緒にご飯を食べたり話したり、寮の居心地がよかった点も留学生生活を安心して楽しむことができた理由だと思います。

アメリカ人に限らずたくさんの方が日本の文化などの日本のことについて聞いてくれました。意外と日本のことを答えるのが難しかったので、日本の文化などをある程度答えられるようにしておくとお話が弾むと思います。また、英語の勉強は留学前にしていたつもりでしたが実際生活してみると分からないことも多く、特にアメリカに行ったばかりの頃は聞き取れなくて苦労したこともありました。英語の勉強は十分すぎるくらいたくさんして、留学に備えるとよいと思います。しかし、分からなくても先生や友人に聞くとみんな分かるまで教えてくれるし、聞き取れなくて何回も聞き返しても基本的にいやな顔をされることはありませんでした。分からないままにしていると、時には話が二転三転していることもあるのでどんなに小さなことでも分からないことは聞くことが大切だと思います！

留学生生活はもちろん大変なこともたくさんありましたが、もう一度生きたいと思うほど楽しくて充実した経験になりました。行ったばかりの頃は本当にやっていけるのか不安になることもありましたが、そんな経験も含めてすべてよい思い出です！またいつかこの一年で出会った友人や、助けてくれた人たちに会いたいです。もし留学を迷っているなら、是非行くことをおすすめします！